

令和5年度「国語」シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
現代の国語	2	1	全コース	必修	教科書:第一学習社『標準 現代の国語』(現国715) 副教材:尚文出版『常用漢字ダブルクリア』

1 科目の概要および目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 成績評価

評価の観点		
1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力	3. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。
評価の方法	①定期テスト及び実力テストの得点 ②ノート・プリント等の提出状況 ③授業時の発表、授業態度 ④長期休暇中の課題の提出状況 以上を総合的に判断する	

3 授業展開と形態

一斉授業

4 学習方法

一斉授業、グループ活動等

5 年間学習計画

月	時間	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
4	4	ガイダンス 世界を広げる ・なぜ本を読むのか ・世界は謎に満ちている	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	3	話し方の工夫	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	授業態度 発問評価 話し合い リフレクションシート ポートフォリオ
5	3	書き方の基礎レッスン	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。	授業態度 発問評価 学習課題集の提出 定期考査
5	4	社会に対する意見文を書く	・意見文とはどういうものかを理解する。 ・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。	授業態度 提出物
6	4	言葉が開く世界 ・言葉遣いとアイデンティティ ・言語としてのピクトグラム	・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。 ・言葉遣いの役割について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート
6	3	論理的な表現	・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現のしかたについて理解する。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
7	4	身近な製品の取扱説明書を作成する	・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 ・わかりやすい説明を実践できるようになる。	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ 取扱説明書の提出
9	5	読書感想文の書き方	感想文を書くときの注意点、文章構成等について理解し、感想文を書く。	提出物
9	4	人間と文化 ・水の東西 ・ステレオタイプの落とし穴	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

10	6	情報の探索と検索	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を探す方法を理解する。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 ・情報の探索と選択を実践できるようになる。 	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
11	4	実用的な文章を書く(手紙文)	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書く。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫する。 	授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集・ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
11 12	3	生活の中の表現 法律の改正に関わる文章を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。 	発問評価 発表・報告 調査とまとめ 取扱説明書の提出
12	3	相手に伝わる案内をする	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場の状況を押さえて案内することができる。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じる。 	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
1	3	地域の魅力を紹介する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に紹介する方法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、紹介文を書く。 ・書いた紹介文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫する。 	授業態度 発問評価 発表・報告 紹介文の提出 リフレクションシート ポートフォリオ
1	4	社会と人間 ・「弱いロボット」の誕生 ・人はなぜ仕事をするのか	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・本文を読んで考えたことを根拠をあげて説明しようとしている。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	2	理想の修学旅行をプレゼンをする	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行うようとしている。 ・協働して資料や機器を用い、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。 	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
2	5	生徒の生活実態を調査して文章を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・相手と目的に応じた報告文のあり方を理解する。 ・目的に沿った調査の方法を理解し、実践する。 ・報告文の書き方を理解し、実践し、評価する。 	授業態度 発問評価発表・報告 調査とまとめ 報告文の提出 リフレクションシート ポートフォリオ
2 3	4	現代と社会 ・イースター島になぜ森がないのか ・黄色い花束	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	1	合意形成のための話し合いを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 ・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解する。 	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
3	1	論理分析 ・「間」の感覚・日本語はこのように世界を捉える・AIは哲学できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
計	70			

令和5年度「国語」シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
言語文化	2	1	全コース	必修	教科書:第一学習社『標準 言語文化』(言文715) 副教材:尚文出版『常用漢字ダブルクリア』

1 科目の概要および目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。

2 成績評価

評価の観点		
1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力	3. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価の方法	①定期テスト及び実力テストの得点 ②ノート・プリント等の提出状況 ③授業時の発表、授業態度 ④長期休暇中の課題の提出状況 以上を総合的に判断する	

3 授業展開と形態

一斉授業

4 学習方法

一斉授業、グループ活動等

5 年間学習計画

月	時間	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
4	4	ガイダンス 小説を読む(一) とんかつ(三浦哲郎) よるこびの歌(宮下奈都)	・学習内容、評価方法の説明。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査
4 5	3	古文入門 古文の学習 児のそら寝 三文にて歯二つ	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
5	3	古文に親しむ なよ竹のかぐや姫 絵仏師良秀	・古文の世界への親しみを深める。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
5 6	4	漢文入門 漢文の学習 訓読に親しむ	・我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深める。 ・返り点、助字、再読文字の種類と使い方を習得する。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査

6	4	詩の楽しみ 道程（高村光太郎） 小景異情（室生犀星） I was born（吉野弘） 二十億光年の孤独（谷川俊太郎）	・近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・近代詩の表現の技法とその効果について理解する。 ・音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
6	3	随筆を読む（一） 枕草子 歴史の窓	・当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・随筆という種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
7	4	故事成語 五十歩百歩 矛盾 蛇足	・漢文の訓読に慣れ、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
9	5	小説を読む（二） 羅生門（芥川龍之介） 公園（三浦亜記）	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめる。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 学習課題集の提出
9 10	4	歌物語を読む 伊勢物語	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
10	6	漢詩の鑑賞 唐詩の世界 日本の漢詩 漢詩のきまり 歴史の窓	・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・我が国の文化と中国の文化との関係に理解を深める。 ・漢詩のきまりを理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 定期考査 学習課題集の提出
11	4	短歌と俳句 清水へ 手毬歌	・我が国の伝統文化である短歌・俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌・俳句の表現の技法とその効果について理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
11 12	3	随筆を読む（二） 徒然草 歴史の窓	・作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
12	3	史伝を読む 鶏口牛後 完璧 先従隗始	・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・課題に応じて調査する。 ・語の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査
1	4	小説を読む（三） 夢十夜（夏目漱石） 鏡（村上春樹）	・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
1 2	4	軍記物語を読む 平家物語 古典のしるべ	・原文と口語訳とを比較しながら、軍記物語の合戦場面の生き生きとした描写を味わう。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
2	3	中国の思想 論語	・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・孔子のエピソードを調べて文章にまとめる課題に応じて調査する。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査
2 3	5	伝統と文化 人形浄瑠璃文楽－三業一体の技 祭りの笛（三浦哲郎） 〔言語活動〕	・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。 ・我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ 随筆の提出

3	4	和歌と俳諧 万葉・古今・新古今 (言語活動) 奥の細道 古典のしるべ	・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 和歌の提出 定期考査
計	70			

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
文学国語	2	2	全コース	必修	教科書: 大修館書店『新編 文学国語』(文国語705) 副教材: 尚文出版『常用漢字ダブルクリア』

科目の目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力	3. 主体的に学習に取り組む態度
言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

月	時間	教科書単元名/教材名	学習の目標	評価方法等
4	3	【I】 1 明日をひらく少なくとも最後まで歩かなかった	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
5	3	そとみとなかみ	・筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を比較してとらえ、認識を深める。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	3	【書く】言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	・観察 ・ワークシート ・作品
6	3	【書く】言葉でスケッチ ②魅力を言葉で表そう	・ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにする。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	・観察 ・ワークシート ・作品
	6	2 小説を楽しむ(一) ナイン	・場面の設定のしかたをとおして登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
7	4	晴れた空の下で	・本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ・語句のはたらきに注目して読む。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	1	古典の世界 1星取り	・話のおもしろさをとらえる。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	1	児の飴食ひたること	・話のおもしろさと教訓をとらえる。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
9	1	恋のうた現代の恋/近代の恋	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	1	3 詩を味わう 小景異情	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2	永訣の朝	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

月	時間	教科書単元名／教材名	学習の目標	評価方法等
	1	コスモス	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
10	8	4 名作を読む 山月記	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2	古典の世界2 かぐや姫の昇天	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2	月やあらぬ	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
11	4	5 社会に生きる 神去なあなあ日常	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	3	鞆	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
12	4	その日東京駅五時二十五分発	・心情や情景描写に注意して読む。 ・「ぼく」が戦争についてどのように感じ、考えているかを読み取る。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
1	1	読書の広場 鉄道員	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2	6 表現を味わう 身内ほど厄介なものはない	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	3	柿	・さまざまな文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
2	3	ぼくのお母さん	・様々な文章を読み、構成や表現の工夫を読み取る。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	3	【書く】思いを言葉に ①エッセイを書こう	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	・観察 ・ワークシート ・作品
	3	【書く】思いを言葉に ②手紙を書こう	・特定の読み手を想定し、手紙の形式で言葉を贈る。 ・読み手と自分の関係に注意して、相手に応じた内容や表現を工夫して書く。	・観察 ・ワークシート ・作品
3	1	古典の世界3 はしたなきもの	・作品に表れている作者の感性をとらえる。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		手のわるき人の	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2	行く河の流れ	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

月	時間	教科書単元名／教材名	学習の目標	評価方法等
---	----	------------	-------	-------

令和5年度「国語」シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
論理国語	2	2	全コース	必修	教科書:大修館『新編 論理国語』(論国706) 副教材:尚文出版『常用漢字ダブルクリア』 第一学習社『カラー版新国語便覧』

1 科目の概要および目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 成績評価

評価の観点		
1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力	3. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価の方法	①定期考査や小テスト等の得点 ②ノート・ワークシート等の提出状況 ③授業時の発表、授業態度 ④長期休暇中の課題の提出状況 以上を総合的に判断する	

3 授業展開と形態

一斉授業

4 学習方法

一斉授業、グループ活動等

5 年間学習計画

月	時間	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
4	5	ガイダンス 論理と出会う① ・ 知の登山、知の水路	・ 学習内容、評価方法の説明 ・ 「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・ これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ワークシート ノート 小テスト 定期考査 リフレクションシート
4 5	2	論理的に書く① ・ 根拠をふまえて主張を書こう ・ 意見文を書く	・ 根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ・ 接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。	授業態度 ワークシート ノート 小テスト リフレクションシート
5	6	論理と出会う② ・ 「論理的な人」とはどういう人か ・ 【フォーカス】「論理」への第一歩	・ 「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・ 筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。 ・ 論理的に考える姿勢を身につけ、論理がなぜ必要なのかを理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ワークシート ノート 小テスト 定期考査 リフレクションシート
6 7	12	具体と抽象 ・ 具体と抽象の関係 ・ 突然変異と進化の関係 ・ ウサギの耳はなぜ長い? ・ 記号的メディアと物理的メディア ・ 【フォーカス】具体と抽象を使いこなそう	・ 具体と抽象の関係について考えを深める。 ・ 具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・ 文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 具体例の働きを的確にとらえ、具体と抽象の関係についての理解を深める。 ・ 文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 具体と抽象の関係について、理解を深める。 ・ 内容を具体化してわかりやすくしたり、抽象化してまとめたりする。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ワークシート ノート 小テスト 定期考査 リフレクションシート
7	1	論理的に書く② ・ 構成を考えて書こう	・ 基本的な小論文の型を理解する。	授業態度 ワークシート ノート 小テスト リフレクションシート
	1	読書感想文の書き方	感想文を書くときの注意点、文章構成等について理解し、感想文を書く。	授業態度 ワークシート

9 10	12	対比をとらえる ・ 比べて説明する ・ 米の種類と食文化 ・ 対話の精神 ・ デジタル地図から見える世界 ・ 【フォーカス】対比を使って主張する	・ 対比の関係について考えを深める。 ・ 具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・ 文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・ 文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 効果的な対比の用い方について、理解を深める。 ・ 主張を支えるための対比の用い方を考える。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ワークシート ノート 小テスト 定期考査 リフレクションシート
10 11	12	主張をつかむ ・ 主張と根拠を考える ・ 文化としての科学 ・ 人工の自然—科学技術時代の今を生きるために ・ 「考える葦」であり続ける ・ 【フォーカス】要約の方法	・ 主張と根拠の関係について考えを深める。 ・ 主張と根拠の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・ 文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。 ・ 筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・ 文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。 ・ 文章のキーワードや、主張と根拠の関係を的確にとらえて要約する。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ワークシート ノート 小テスト 定期考査 リフレクションシート
11 12	12	統計資料を活用する ・ 文章と資料を関連づけて読む ・ 量の時代から質の時代へ ・ 若者の「海外旅行離れ」は本当か？ ・ 【フォーカス】統計資料を活用しよう	・ 文章と統計資料の関係について考えを深める。 ・ さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・ 統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。 ・ 文章と統計資料の関係を的確に読み取る。 ・ データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。 ・ 統計資料の特徴をとらえ、必要な情報を的確につかむ。 ・ 主張の根拠となるように、統計資料を効果的に活用する。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ワークシート ノート 小テスト 定期考査 リフレクションシート
1	3	論理的に書く③ ・ 反論を想定して書こう ・ 文章を磨き上げよう	・ 反論を想定し、説得力のある小論文を書く。 ・ 推敲の観点を知り、文章を改善する。	授業態度 ワークシート ノート 小テスト リフレクションシート
1 2	12	比べて読む ・ 情報を比較・整理する ・ 「言葉の揺れ」を認めるか ・ 紙の本はなくなる ・ 情報化と紙の本のゆくえ ・ 【フォーカス】比べて読もう	・ 情報を比較・整理する方法について考えを深める。 ・ 情報を比較・整理しながら、異なる立場の主張を読み取る。 ・ 異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・ 対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・ 具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。 ・ 二つの文章を比べて読み、自分の考えをもつ。	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い ワークシート ノート 小テスト 定期考査 リフレクションシート
3	4	レポートを書く ・ テーマを決め、問いを立てよう ・ 情報を収集しよう ・ 情報を整理しよう ・ レポートをまとめよう	・ 具体的なレポートのテーマを決め、問いを立てる。 ・ 適切な調査方法を選び、レポートに必要な情報を集める。 ・ 集めた情報をレポートで使えるように整理・分類する。 ・ 読者を意識し、構成や記述に配慮しながら、読みやすくわかりやすいレポートを書く。	授業態度 ワークシート ノート 小テスト リフレクションシート
計	70			

令和5年度「国語」シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
国語基礎	2	2	2年特進選択 2年普通総合	選択	『国語必携 パーフェクト演習 三訂版』（尚文出版）

1 科目の概要および目標

- 1 基本的な言語能力や自己表現力を育成する。
- 2 国語の基礎学力向上をはかり、就職試験・入学試験に必要な知識を身につけさせる。

2 成績評価

評価の観点				
1. 関心・意欲・態度	2. 話す・聞く能力	3. 書く能力	4. 読む能力	5. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的やその場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	①定期テスト及び実力テストの得点 ②ノート・プリント等の提出状況 ③意見文・読書感想文等の作品の提出状況と完成度 ④授業時の発表、授業態度 ⑤長期休暇中の課題の提出状況 以上を総合的に判断する			

3 授業展開と形態

2年特進クラス選択

4 学習方法

一斉授業、グループ活動等

5 年間学習計画

月	時数	単元・または項目	学習のねらい	評価方法
4 5	3 6	オリエンテーション 第1編 基礎編 『ちいさな物みつけた』 『哲学への誘い』 『雛』 『悩む力』 『道程』 『侏儒の言葉』	・国語基礎の授業を受ける際の心構えを知る。 ①常用漢字の読み・書きを確認する。 ②国語辞典・漢和辞典の使用法を確認する。 ③近～現代の日本文学史の基礎知識を身に付ける。 ④様々なジャンルの作品に触れることにより、文章の読解力を身に付ける。 ⑤「ミニコラム」を読むことにより、国語に関する知識を深める。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
6 7	5 6	第2編 発展編 『最後の花時計』 『日本語の論理』 『済ませる食事』『やどろく』 『日本の自我』『枕草子』 『奥の細道』 古典（志貴皇子ほか） 古典（松尾芭蕉ほか） 難読語・四字熟語 ことわざ・故事成語	〈第2編（発展編）を通して、国語での一般常識問題やSPI2対策を行う。〉 ①常用漢字の読み・書きを確認する。 ②同音異字や誤字訂正の演習を行うことにより、語彙力を高める。 ③短歌（和歌）・俳句を味わうことにより、韻文学史への理解を深める。 ④難読語や中～近世文学史の学習を通して、日本文学の基礎知識を身に付ける。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度

9 1 0	7 7	第3編 実践編 『庭をめぐる短い覚書』 『「親指」革命の文明史』 『書齋のナチュラルリスト』 『草枕』 新聞記事	〈第3編（実践編）を通して、就職試験・入学試験への対応力を養う。〉 ①難読語・同音異義語・対義語・四字熟語などを学ぶことによって、一般教養を深める。 ②様々なジャンルの作品に触れることにより、文章の読解力を高める。 ③新聞に親しむ姿勢を身に付ける。 ④上代～中古文学史の学習を通して、日本文学史への教養を深める。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
1 0 1 1 1 2	8 8	第4編 表現編 表現の基礎・書き方の基本 「あなたの高校生活」 「これからの心構え」 「あなたのセルフポート」 口語文法・スピーチの仕方	〈第4編（表現編）を等して、文章力・表記法演習を行う。〉 ①表記の基本・注意事項を学ぶことによって、読者にわかりやすい文章作法を身に付ける。 ②文章構成を考え、自己の意見を表現する演習を行う。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
1 2	1 0 1 0	第5編 実用編敬語 手紙の書き方 電話の応対 総復習	〈試験や実生活で役立つ実用的な知識を習得する。〉 ①敬語の種類・使用法の基本・文書作成などを学ぶことによって、豊かな言語生活を過ごせるようにする。 ②1年間の学習内容を振り返り総演習を行うことにより、知識の定着を図る。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
総時数	70			

令和5年度「国語」シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
沖縄の文学	2	3	郷土文化	必修	沖縄学版『新編沖縄の文学(増補・改訂版)』

1 科目の概要および目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 成績評価

評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話す・聞く能力	3. 書く能力	4. 読む能力	5. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的やその場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法 ①定期テスト及び実力テストの得点 ②ノート・プリント等の提出状況 ③意見文・読書感想文等の作品の提出状況と完成度 ④授業時の発表、授業態度 ⑤長期休暇中の課題の提出状況 以上を総合的に判断する				

3 授業展開と形態

一斉授業

4 学習方法

一斉授業、グループ活動等

5 年間学習計画

月	時数	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
4	1	オリエンテーション	・学習の仕方、評価の仕方について説明する。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
	4	一 身近な方言	・音韻体系や文法に一定の法則があることを学ぶ。	
	4 2	二 歌謡 1 歌謡概説	・沖縄の歌謡についての解説文を読み、内容と特徴をまとめる。	

5	6	2 祈りの文学 3 オモロ	・「天に鳴響む大主」「えけ、上がる三日月や」などの音読と読解。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
6	3	4 奄美の歌謡	・「あさばな節」「豆の花のアヤグ」の読解と鑑賞。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
3	5 宮古の歌謡	・「鷺の鳥節」「トウバラーマ節」などの読解と鑑賞。		
3	6 八重山の歌謡			
7	4			
9	9	三 琉歌	・よしやと恩納ナベの琉歌を学ぶ。 ・琉舞の中の琉歌について学ぶ。 ・「貫花」「花風」「かせかけ」等の歌詞を理解する。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
10	7	四 琉球説話文学 1	・琉球説話文学概説を読み、琉球の説話の特色をまとめる。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
11	6	琉球説話文学 2	・「銘刈子」と「白銀堂伝説」の読解。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
12	6	五 劇文学 1 劇文学概説	・劇文学概説を読み、組踊と沖縄の芝居について、その歴史や特徴を学ぶ。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
	6	五 劇文学 2 組踊	・組踊「執心鐘入」を視聴覚教材を活用しながら学習する。 ・学習プリントを活用して、場面ごとに内容を理解する。	
1	7	3 沖縄の芝居	・「丘の一本松」を読む。 ・「丘の一本松」の方言を理解する。 ・「丘の一本松」のビデオを鑑賞する。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
2	6	六 評論	・口語訳を参考にして、『三鳥問答』を読み内容を理解する。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
		七 琉球和文学	・和歌『沖縄集』より五作品を鑑賞する。 ・擬古文物語「貧家記」を読む。 ・随筆『思出草』を読む。	・授業態度 ・発表 ・提出物等 ・定期考査
総時数	70			

令和5年度「国語」シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
現代文B	2	3	全コース	必修	教科書:『高等学校 改訂版 標準現代文B』第一学習社 副教材『現代の語彙力向上の壺』

1 科目の概要および目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 成績評価

評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話す・聞く能力	3. 書く能力	4. 読む能力	5. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的やその場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法 ①定期テスト及び実力テストの得点 ②ノート・プリント等の提出状況 ③意見文・読書感想文等の作品の提出状況と完成度 ④授業時の発表、授業態度 ⑤長期休暇中の課題の提出状況 以上を総合的に判断する				

3 授業展開と形態

教養ビジネス・普通総合(特別進学クラスを除く)コースは習熟度別クラス(学期ごとに成績・授業態度等を確認しクラス替えを行う)

郷土文化コースは一斉授業

4 学習方法

一斉授業、グループ活動等

5 年間学習計画

月	時数	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
4	1 4 4	ガイダンス 世界を見つめる ワスレナグサ 食と創造力	・学習内容、評価方法の説明。 ・文章の中から問題点を見つけ、それについて考える心を養う。 ・筆者の体験を追体験することで、現代社会を考える糸口とする。	◇読 筆者の主張を的確に読み取り、問題点を見つけ説明している。(発言・考査)
	2	意見文	・意見文を書くときの注意点、必要な材料の集め方、文章構成等について理解し、実際に意見文を書く。	◇書・知 意見文の書き方のポイントを理解し、意見文を書いている。(作品)

5	4	小説を読む 話を聞かせて	<ul style="list-style-type: none"> 小説を読むおもしろさを味わい、鑑賞と分析の仕方を学ぶ。 働くことや人を思いやることを見つめ直すとともに考える機会とする。 	◇読 主人公と登場人物との会話や関係から「私」の心境の変化を読み取る。(発言・考査)
6	4	新しい視点 記憶のゆがみ	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を自身の生活に引きつけて読む姿勢を養う。 記憶のしくみについて学び、自身の日常生活に考える契機とする。 	◇読 本文の内容を理解し実験からえられる結果をとおして記憶のしくみを理解する。(発言・考査)
	2 2	詩を味わう 食事 こころ	<ul style="list-style-type: none"> 近代詩や現代詩の鑑賞のしかたを深め、さまざまな技法を学ぶ。 各連の内容をつかみ、連ごとの展開を理解する。 	◇読・知 近代詩の鑑賞のしかたをとおして、作者の思いを読みとる。(発言・考査)
7	5 2	小説を読む(三) 山椒魚 読書感想文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> 作品中の物事がどのようなことを象徴しているかを考える。 それぞれの場面において山椒魚の心情がどのように変化しているかを読み取る。 感想文を書くときの注意点、文章構成等について理解し、感想文を書く。 	◇話 作品中の物事がどのようなことを象徴しているかを考え、それぞれの場面での山椒魚の心情をとらえる。(発言・考査) ◇書・知 感想文の書き方のポイントを理解し、感想文を書いている。(作品)
9	6	小説を読む(一) ひよこの眼	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心理や行動をよみ、自己発見、他者とのかわりについて考える機会とする。 	◇読・知 小説の構成や語り手の視点を理解し、登場人物の心理や行動を読みとる。(発言・考査)
10	5	生への思索 僕らの時代のメディア・リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張がどのように展開しているか論理構造を理解する。 文章で扱われている問題について改めて考える機会としたい。 	◇読・知 論理的な文章をとおして、読み方を習得し本文での課題を自己の問題として考える。(発言・考査)
11	6	小説を読む(二) 卒業	<ul style="list-style-type: none"> 小説により鑑賞力と読解力を身につける。 主人公の心情の変化をとらえ「仕事」や「友情」や「責任」について考える機会としたい。 	◇読 登場人物の心情変化を読み取り作品の主題を読みとっている。(発言・考査)
12	5	人間と社会 経験の教えについて	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容をつかみ、筆者の主張を理解する。 経験で学ぶことの難しさと重要性を自らの問題としてとらえる機会としたい。 	◇読・知 具体例と抽象的な記述との関係を理解し、経験と自己との関係について理解している。(発言・考査)
	5	短歌と俳句 折々のうた	<ul style="list-style-type: none"> 近代俳句や近代短歌に親しむ。 作品と鑑賞文との対応関係を理解し、鑑賞文を味わう。 各作品に詠まれている自然や人生を味わい、自分を取り巻く自然や生活を見つめ直す機会とする。 	◇読・知 評論の形をとった文章の読解をとおして近代短歌・俳句の鑑賞の仕方を習得するとともに作品と鑑賞文との関係を理解している。(発言・考査)
1	7	小説を読む(三) 山月記	<ul style="list-style-type: none"> 漢文訓読調の文章を味わい、表現力、感受性を豊かにする。 主人公の運命について考え、自分の生き方を考える機会とする。 	◇読 漢文調の独特な表現を理解し主人公の変身にこめられた意味を考え、主題をまとめている。(発言・考査)
2	6	人間と社会 新しい博物館を	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を学ぶことをとおして、科学と文化のあり方を考える機会とする。 	◇読 科学の現状と筆者の問題意識について理解し、随想的な要素を持つ評論の読み方を取得する。(発言・考査)
総時数	70			

令和5年度「国語」シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
古典B	2	3	教養ビジネスコース 普通総合コース	必修	『高等学校 改訂版 標準古典B』 第一学習社

1 科目の概要および目標

1. 古典を読む能力を養うとともに、思考力を伸ばし、感性や情緒を育み、古典を通して、人生を豊かにする態度を育成する。
2. 幅広く古典を取り上げ、かつ言語文化の変遷について理解を深める。
3. 我が国の文化の特質、我が国の文化と中国の文化との関係について考える。

2 成績評価

評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話す・聞く能力	3. 書く能力	4. 読む能力	5. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的やその場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法 ①定期テスト及び実力テストの得点 ②ノート・プリント等の提出状況 ③意見文・読書感想文等の作品の提出状況と完成度 ④授業時の発表、授業態度 ⑤長期休暇中の課題の提出状況 以上を総合的に判断する				

3 授業展開と形態

教養ビジネス・普通総合コースは習熟度別クラス(学期ごとに成績・授業態度等を確認しクラス替えを行う)

4 学習方法

一斉授業、グループ活動等

5 年間学習計画

月	時数	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
4	1 3	ガイドダンス 伝承・説話 御伽草子 宇治拾遺物語 浦島太郎	・学習内容、評価方法の説明。 ・今までに学習した古文の知識をふまえて、文脈に沿って正しく理解する。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
5	4	逸話 説苑 新序 淮南子	・読みにくい語句・句法に注意しながら、訓読になれる。 ・登場人物の心情を理解できるようにする。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度

6	6	物語(一) 大和物語 宇津保物語 堤中納言物語	・長編物語を構成する、主人公とこれをめぐる諸人物たちの人間関係の諸相を理解する。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
	4	三国志の世界 水魚之交 赤壁之戦 死諸葛走生仲達	・仮定・反語などの文型に習熟し、訓読や口語訳の際に正確に扱えるようにさせる。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
7	2			
9	8	物語(二) 大鏡 源氏物語	・語り手の人物を評価する視点や判断基準がどのようなところにあるのかを考える。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
10	8	漢詩の鑑賞 古体の詩	・詩にこめられた作者の心情を読み取る。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
11	8	日記 蜻蛉日記 紫式部日記 和泉式部日記	・恋の始まりと展開を心情描写に即して理解し、贈答歌にこめられた男女の心の機微を捉える。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
12	6	史記の群像	・『史記』を読み、治乱興亡の世に処する人々の姿にふれ、古代の人々のものの見方・考え方を理解する。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
1	10	評論	・評論を読むことで、古典文学を創り育てた人々の、古典に寄せる真摯な思いを理解し、芸術・文化を尊重する気持ちを養う。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
2	10	名家の紋章	・中国の代表的な文章を読んで、作者の人生観・政治論・教育論を知る。	・定期テスト等 ・提出物 ・授業態度
総時数	70			

令和5年度「国語」 シラバス

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
国語表現	2	3	普通総合・郷土文化 ・教養ビジネスコース	選択	大修館書店『国語表現』 大修館書店『国語表現 基礎練習ノート』

1 科目の概要および目標

概要:

原稿用紙の使い方や小論文・レポート入門(材料集め・基本的な文章構成の仕方・効果的な文章表現の仕方等)に取り組み、上手な聞き方・話し方を実践し、漢字、熟語、ことわざについて学習する。

目標:

1. 原稿用紙の使い方がわかる。
2. 日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を身につけ、他者と協働しながら主体的に学習に取り組む。
3. 面接時の答え方や、人前で発表するためのポイントが分かる。

2 成績評価

評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話す・聞く能力	3. 書く能力		5. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	課題を解決したり考えを深めたりするために、進行の仕方などを工夫して話し合っている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書いている。	自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示そうとしている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法 ・定期テストの得点 ・授業時の発表、ノート・プリント等の提出状況。 ・長期休暇中の課題の提出状況・作品の提出状況と完成度。以上を総合的に判断する。				

3 授業展開と形態

選択者を2クラスごとにまとめ、20名前後の人数で行う。

4 学習方法

一斉授業または個別指導

5 年間学習計画

月	時間	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
4	23	【書いて伝える】 ・整った文を書く・わかりやすい文を書く・文のつながり方・絵や写真を見て書く 【小論文・レポート入門】 ・小論文と意見文・反論を想定して書く・資料を読み取って書く・発想を広げて書く	【書いて伝える】 ・わかりやすく読みやすい、整った文章を書く力を身につける。 【小論文・レポート入門】 ・小論文やレポートの書き方の基本を学ぶ。 ・情報を収集・分析し、自分の考えを深める。	評価観点 a・b・c・d ・文章に取り組み表現を工夫し効果的に書いている。 ・発表 ・学習課題の提出 ・ノートの整理 ・考査
6	12	【自己PRと面接】 ・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・将来の自分を考えよう ・志望動機をまとめよう ・面接にチャレンジ	【自己PRと面接】 ・自分の過去や現在を見つめ、将来に向けての展望を持つ。	評価観点 a・b・c・d ・経験から得たことや学んだこと、長所について考えを深め、志望動機をまとめている。 ・発表 ・学習課題の提出 ・ノートの整理 ・考査
7				

9 1 0	13	<p>【メディアを駆使する】</p> <p>通信文を書き分ける 電話を使いこなす ネット社会とコミュニケーション</p> <p>表現の扉</p> <p>【声とコミュニケーション】</p> <p>言葉のストレッチ体操 リーダーズシアターを開こう ショートスピーチをしよう</p>	<p>・自分の特長を他者に的確に伝える力を身につける。【メディアを駆使する】</p> <p>・メディアによる特性・特徴の違いについて理解する。</p> <p>・相手や目的に応じてメディアを選択し、効果的に表現する。</p> <p>【声とコミュニケーション】</p> <p>・内容や表現の仕方を工夫して話す。</p> <p>・聞くことを通じて表現の仕方の工夫について理解し、自らの表現に役立てる。</p>	<p>評価観点a・b・c・d</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いを用いて電話での応対をしている。 ・ネットとのつきあい方を理解している。 ・発表 ・学習課題の提出 ・ノートの整理 ・考査
	16	<p>【会話/議論/発表】</p> <p>相手や場面に応じた会話 議論して結論を出す プレゼンテーションの工夫</p> <p>【表現を楽しむ】</p> <p>言葉で遊ぶ 詩歌を楽しむ 魅力的なポスターを作ろう 「わが町自慢」のパンフレット作り 働く人にインタビュー みんなでつくろう国語辞典 「私の虫類図譜」を作ろう</p>	<p>【会話/議論/発表】</p> <p>・相手の考えを尊重しながら自らの考えを主張し、論拠の妥当性を判断しながら話し合う。</p> <p>【表現を楽しむ】</p> <p>・表現の楽しさを知る。</p> <p>・様々な言語文化に触れながら、言語に対する感性を磨く。</p> <p>・情報を適切に編集し、魅力的なパンフレットを作る。</p> <p>・聞き取った内容を適切に編集し、まとめる。</p> <p>・想像を広げ、風刺を効かせた作品になるよう工夫する。</p>	<p>評価観点 a・b・c・d</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面や相手に応じた適切な言葉遣いを考えてロールプレイをしている。 ・アピールポイントが伝わるように工夫しながらプレゼンテーションを行っている。 ・発表 ・学習課題の提出 ・ノートの整理 ・考査
1 2	15	<p>エッセイを書こう パロディ物語を書こう 1年間のまとめ</p> <p>こちら悩みごと相談室 開廷！模擬裁判</p>	<p>・効果的な表現を工夫しながら作品を書く。</p> <p>・根拠をふまえて自分の意見を述べる。</p> <p>・1年間のまとめと反省</p>	<p>評価観点 a・b・c・d</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・学習課題の提出 ・ノートの整理 ・考査
総時間	計70			